

## いただいた意見、委員会の考え方及び計画案への反映

令和5年11月 山形村複合施設整備推進委員会

いただいた意見	委員会の考え方及び計画案への反映
複合施設の早期完成を心待ちにしています。中でも図書館エリアの拡大充実を希望します。今は波田図書館や広丘えんぱーくまで行っています。広丘えんぱーくはベンチマークになると思います。明るくて閲覧コーナーや学習スペースも程々にある大人も通える使える設備にして欲しいと思います。	「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」などを参照し、基本計画に記した施設となるよう、今後の詳細な設計作業が進むよう申し送ります。
バス停誘致について、コミュニティバスや福祉バスのことか。もしくはアルピコ交通の路線バスか。	地域連携バス（旧コミュニティバス）や福祉バスを想定しています。
屋上利用について、使わなくなるのでやめた方が良くと思う。トレセンも使っていない。	居心地の良い施設にするため、屋上の利用は有効だと考えています。なおトレセンの屋上は、公民館図書室に付属するスペースとして設けられていたもので、改修された現在は、スリッパ履きでそこへ出ると汚れが付着し、あらゆる所に汚れが広がってしまうため利用していません。
図書館の自動貸出機について、すべての資料にICチップを入れるということか。	導入するシステムに応じた対応を行うものでありますので、詳細な方法はこれから研究していくべきだと考えます。
15ページにある「子どもの居場所・住民交流の場所機能」の表中「賑やかOKコーナー」について、追いかけてっこをしたり歌ったりという感じがするので、「談話OKコーナー」の方が良くないか。	追いかけてっこや歌うことを想定していませんでしたが、誤解を招く表現であることはご指摘どおりだと思います。「おはなしOKコーナー」に修正します。
15ページにある「子どもの居場所・住民交流の場所機能」の表中「読み聞かせコーナー」について、現在図書館で取り組んでいる活動から勘案すると、トレセン若いたまり場くらいの広さが必要。	具体的な広さは、ご指摘いただいたことも勘案した設計となるよう引き継いでいきます。
16ページにある「子どもの居場所・住民交流の場所機能」の表中「子ども用トイレ・授乳室」について、父親が使うことも想定したものに。	ご指摘いただいた視点はそのとおりだと思います。今後の詳細な設計段階で反映したものになるよう申し送ります。
図書館の書架に関しまして、昨今の地震が多発している状況を鑑みて、地震対策に配慮した書架を設置してほしいと思います。	7ページにあるとおり、防災対策は必須と考えております。
図書館機能に関しまして、大人も通いたくなるような蔵書（小説や美術書など）を増やして欲しいので、書架も背の高いものも設置してほしい。	今後の詳細な設計段階で、多様なニーズに応じた書架の設置を検討するよう申し送ります。

いただいた意見	委員会の考え方及び計画案への反映
<p>ハード的には大変よくまとめられていると感じました。先日開催されたワークショップの成果も取り入れてあり、特に問題になるところは無いかと思えます。あとはどのように使うかのソフトの問題だと思います。</p>	<p>ソフト面についてはご指摘のとおりだと思います。</p>
<p>屋上に上られる構造は大賛成です。まつもと市民芸術館の屋上が参考になると思います。そこは木製の長いベンチが設置してあり、足元は芝生張りです。芝生の管理は難しいと思いますので、同様にするのは無理かとも思いますが、山形村内で屋上に上られる施設がほかに見当たらないので、ぜひ実現して居心地のいい場所になればと思います。</p>	<p>居心地の良い施設にするため、屋上の利用は有効だと考えています。いただいたご意見を参考にしながら、今後の詳細な設計段階で検討するよう申し送ります。</p>
<p>ミュージアムの観覧料については他施設とのかねあいでは致し方ないのかもしれませんが、できれば大人も無料にさせていただいて、気軽に展示を観覧したいものです。特に常設展は、よほど展示替えを頻繁に計画しなければ、何度も足を運ぼうとは思わないのではないのでしょうか。村民は無料などの措置をお願いしたいところです。</p> <p>そこで提案があります。他博物館などでは例えば文化の日や各市町村の記念日などに、無料開放の日を設定している例があります。これに倣い、ミュージアム無料開放の日を設定してはいかがでしょうか。それも毎月1日程度、第●日曜日などと決めて、生涯学習カレンダーに記載すれば、村民も利用しやすいと思います。ちなみに大町山岳博物館では、毎月第3日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」とし、長野県民も割引料金で入館できるとのことです。</p>	<p>多くの方に見ていただきやすい環境を整えることは必要だと思います。18ページ最後のところへ「なお、ミュージアムに触れるきっかけづくりとして無料開放の日などを定め、利用しやすい環境を整えることも併せて検討します。」を追加します。</p>
<p>駐輪場設置については、自転車利用の多い自分としましては大変助かります。本村は県内他市町村の例に漏れず、車での移動が当然といった感がありますが、健康長寿のためにも、SDGs(二酸化炭素の削減)の観点からも、比較的ゆっくり移動することで村内の魅力を発見することもできる自転車の活用は、今後のテーマとなりえます。「お天気のいい日は、自転車で複合施設へでも行って見るかな」なんてことになったら素敵だと思います。また、移動手段が限られる子供たちのためにも、使いやすい位置に設置することが肝要だと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、利用しやすい位置へ設置するよう、今後の詳細な設計段階で検討するよう申し送ります。</p>
<p>みんなに使いやすい、ふらっと寄ってみたい造りにしていただければと思います。役場に用事があった時、トレセンで会議があった時、ミラフード館で講演会があった後、ついでに複合施設にも寄って行こうかな、と思わせるような、気兼ねなく行ける場所であってほしいと思います。</p>	<p>コンセプトと同調したご意見だと思いますので、今後の詳細な設計段階で活かしていくよう申し送ります。</p>

いただいた意見	委員会の考え方及び計画案への反映
<p>収蔵庫及び管理作業施設（空間・設備）の充実について。  ミュージアム機能、図書館機能双方において大量の収蔵品があることに驚きました。複合施設を考えるワークショップでは2階建ての建造物を想定されておりましたが、市民利用の空間は1、2階とし、3階もしくは地下等に収蔵物の保管や整理作業にまつわる機能を有した階層を設けることを希求します。  バックヤードの充実は村民の自主的な学習活動を支援する上で必須であり、よりよいサービスを提供するために村民が利用できる空間と同等かそれ以上の空間の確保を求めます。  また、ミュージアム機能、図書館機能双方に管理作業施設の充実をはかる必要があると考えます。資料はとくに湿気や乾燥、日光など外的要因からの劣化を考慮し保管しなければなりません。そのために、換気設備や空調設備また整理作業においては空間だけでなくボイラーや水道などの設備も作業室に備わっている必要があると考えます。利用者だけでなく施設で働く職員にとっても専門的な職に従事しやすい環境が整っていれば、さらに詳しい内容や知識を利用者が得ることができるのではと思います。</p>	<p>階層や設備の配置については、基本計画が実現できるよう、ご意見を参考にしながら、今後の詳細な設計作業が進むよう申し送ります。  運営を支えるバックヤードや、働きやすい環境設備の必要性についてはそのとおりだと思います。こちらも同様に申し送ります。</p>
<p>施設利用料について。  施設を維持、管理する上で成人の利用者から観覧料や利用料を取ることは必要だと思います。くわえて、大人も無料で利用できる無料デー、施設開放日を設けるのはいかがでしょうか。開放日をつくる頻度についてもご一考頂ければと思います。</p>	<p>上記と同様です。</p>
<p>談話室の設定について。  図書館機能、子どもの居場所・住民交流の場所機能において、閲覧、学習に関するコーナーが設けられていましたが、博物館機能の方にも必要であると考えました。機能としては3つの施設で重複する空間であり、施設内をどのように区画分けするかは分かりませんが、床面積をコンパクトにしつつその部屋においては資料の持出も可能となる談話室のような空間があると勉強会を開く際により具体的な学習になると思います。</p>	<p>ミュージアム資料については、扱いに慎重さが求められるため、職員の立ち合いが無く持ち出すことは難しいと考えます。研究などのための閲覧については、作業室でその対応を兼ねるよう想定したいと思いますので、14ページの表中に「・資料の閲覧希望などについて、その機能を兼ねる。」を追加します。なお実物資料を使った勉強会などについては普及活動の一環と考えますので、フリースペースや既存施設の利用を想定しています。</p>